

令和3年度（第2回）松山市景観審議会

議事資料

松山城の眺望を含む都市景観について

（１）これまでの経緯（P1～9）

（２）今後の取組（P10～32）

令和3年10月26日（火）

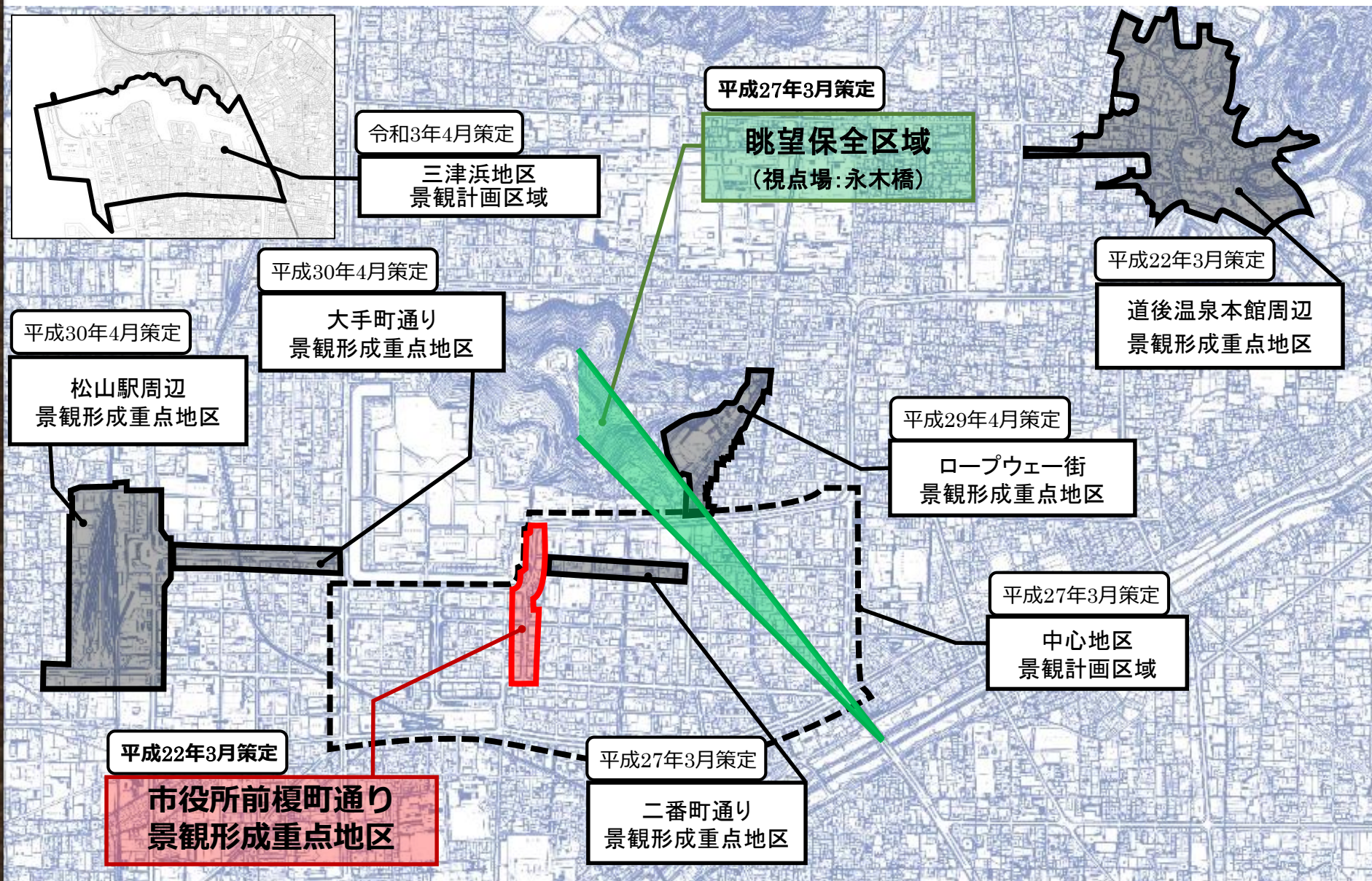
松山市 都市整備部（開発・建築担当）

都市デザイン課

(1)

これまでの経緯

松山市景観計画の策定（松山城への眺望保全が目的の地区・区域が2つ）



- 都市計画では、「土地の有効利用や高度利用を図り、快適で利便性の高いコンパクトシティの実現」を目指している。
- 景観計画では、「先導的役割が期待できる地域や松山城への眺望を守るべき地域を指定し、良好な景観の保全・形成」を目指している。
- 市内中心部では60m規模の高層ビルの建設が増加している。
- 平成30年12月議会での「再開発に関する一部条例改正」の審議において、「市内中心部の大型建築物、また構造物の建設に関して、松山城の眺望を含む都市景観に配慮するよう指導すること」の附帯決議がなされている。
- 令和元年度に、今後の方針を策定するため、松山城の眺望を含む都市景観に関する調査（市民や観光客などを対象としたアンケート調査、モニター写真による眺望景観シミュレーションなど）を実施した。

○松山城の眺望を含む都市景観に関する調査結果の報告（今後の取組）

- ・松山城からの眺望景観は、お城そのものに並ぶ魅力があり、松山らしい景観として保全すべき重要度が高い。
- ・高層建築物等の高さ等の制限を求める意見が多い一方、地域の経済性を懸念する意見もあることから、景観と経済の調和を考慮する。
- ・松山の都市の魅力を高めていくため、市街地の遠景シルエットの形成を検討しながら、松山城からの眺望景観の保全に向けた方策を検討する。

➡『松山城からの眺望景観の保全』

- ・方策の策定（視対象、視点場、対象区域、規制内容など）
- ・松山城及び城山緑地の眺望景観の保全を推進するとともに、市民と行政の協働による松山らしい景観を形成していく。

➡『松山城の眺望景観を尊重する意識の醸成』

- ・松山城への眺望景観の課題整理
- ・松山城の眺望を含む都市景観の啓発策の整理・検討

○松山城からの眺望景観の保全に向けた方策

- ・松山城周辺の状況や議論のたたき台となる考え方について情報を発信し、議論をスタートさせる。

（議論のたたき台となる考え方）

「松山城から半径約2km内は建築物等の高さが標高127mを超えない」

【視点場】優先的に眺望保全に取り組むべき場所「天守閣」

【視対象】天守閣からの眺め（山並み・瀬戸内海・街並み・城山緑地）

【対象区域】松山城から半径約2km内（高層建築物等の建設の可能性が高い）

【保全基準】松山城築城の最低地盤面（標高127m）

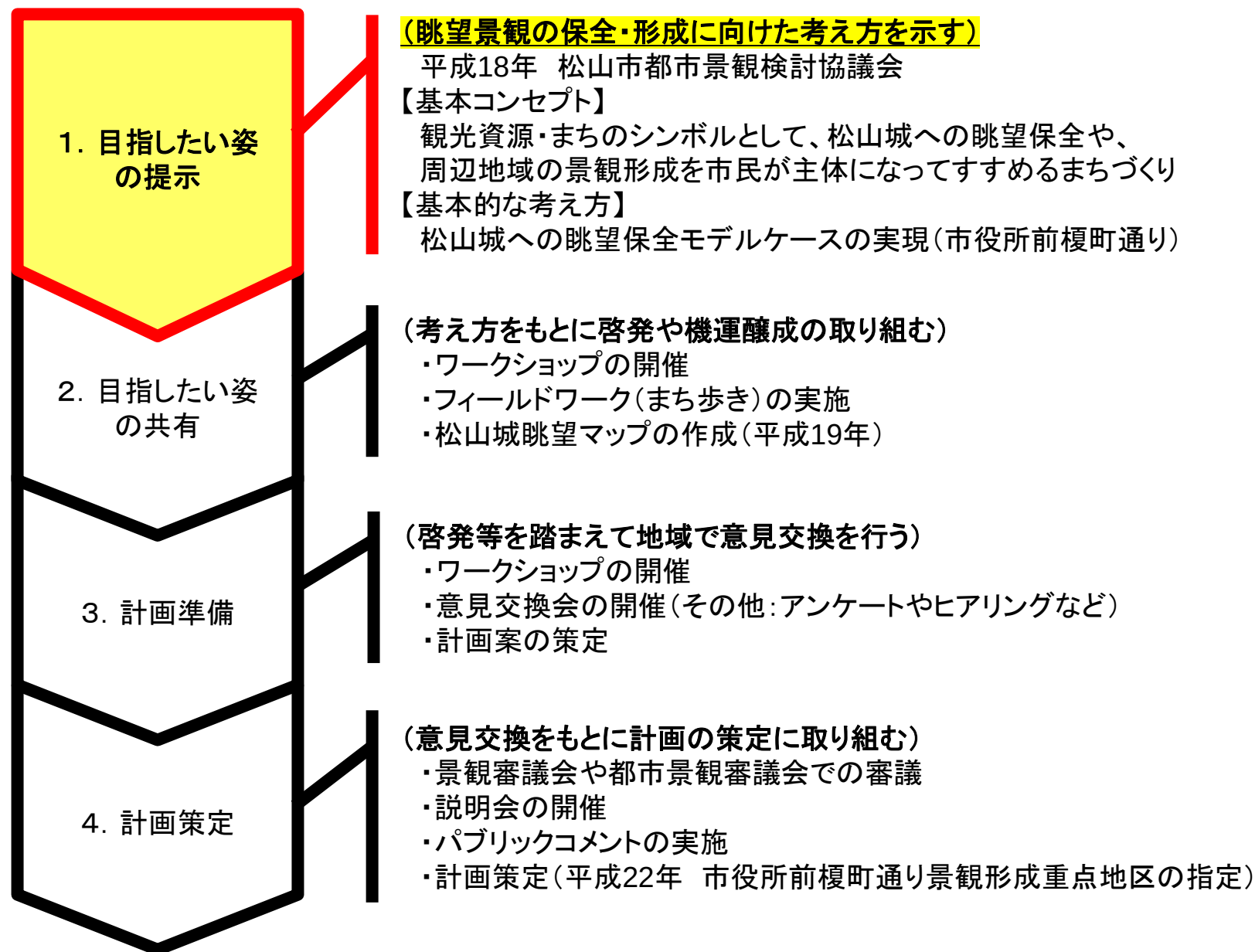
○松山城の眺望景観を尊重する意識醸成

- ・時代とともに変化する眺望景観の将来像を広く共有・議論できるよう、時代の変化も取り入れながら、これまでの取組を強化・推進していく。

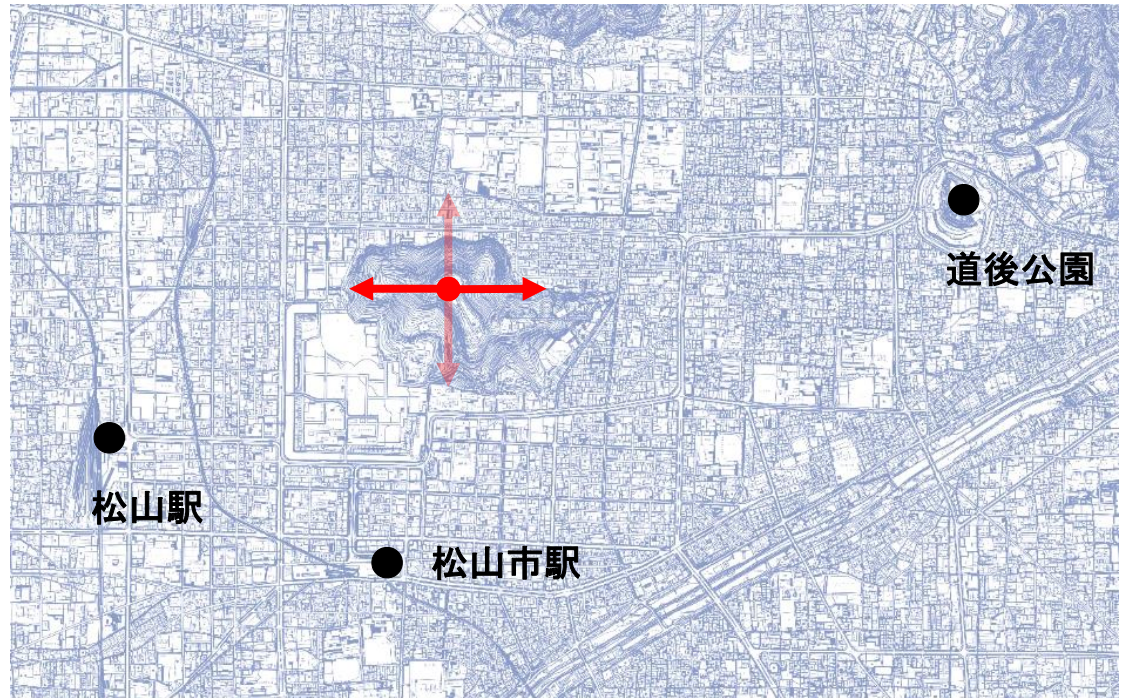
➡ 松山城からの眺望という新たな考え方も加えて、丁寧な説明と幅広い議論を行いながら、松山城を含む都市景観の保全・形成に取り組んでいく。

松山城への眺望景観の保全の取組（手順）を参考

【市役所前榎町通り景観形成重点地区の取組にならない、「目指したい姿の提示」から検討】



視点場:天守閣、方角:東西南北、視対象:山並み・瀬戸内海・街並み・城山緑地



【西】



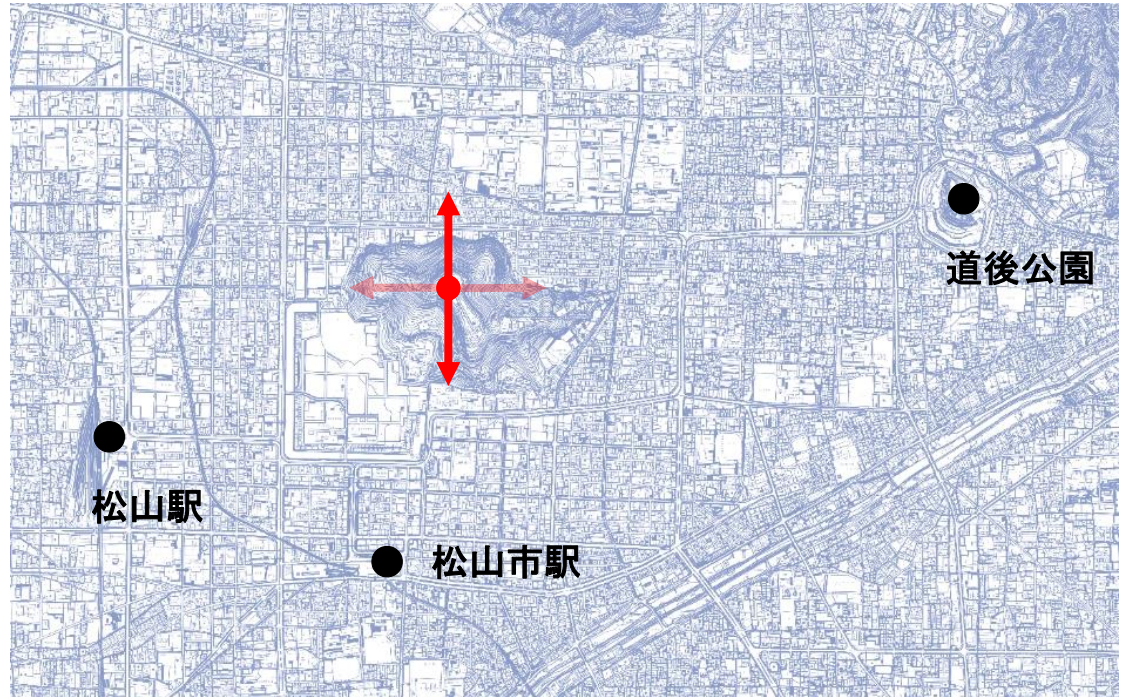
【東】



視点場:天守閣、方角:東西南北、視対象:山並み・瀬戸内海・街並み・城山緑地



天守閣
(標高約155m)

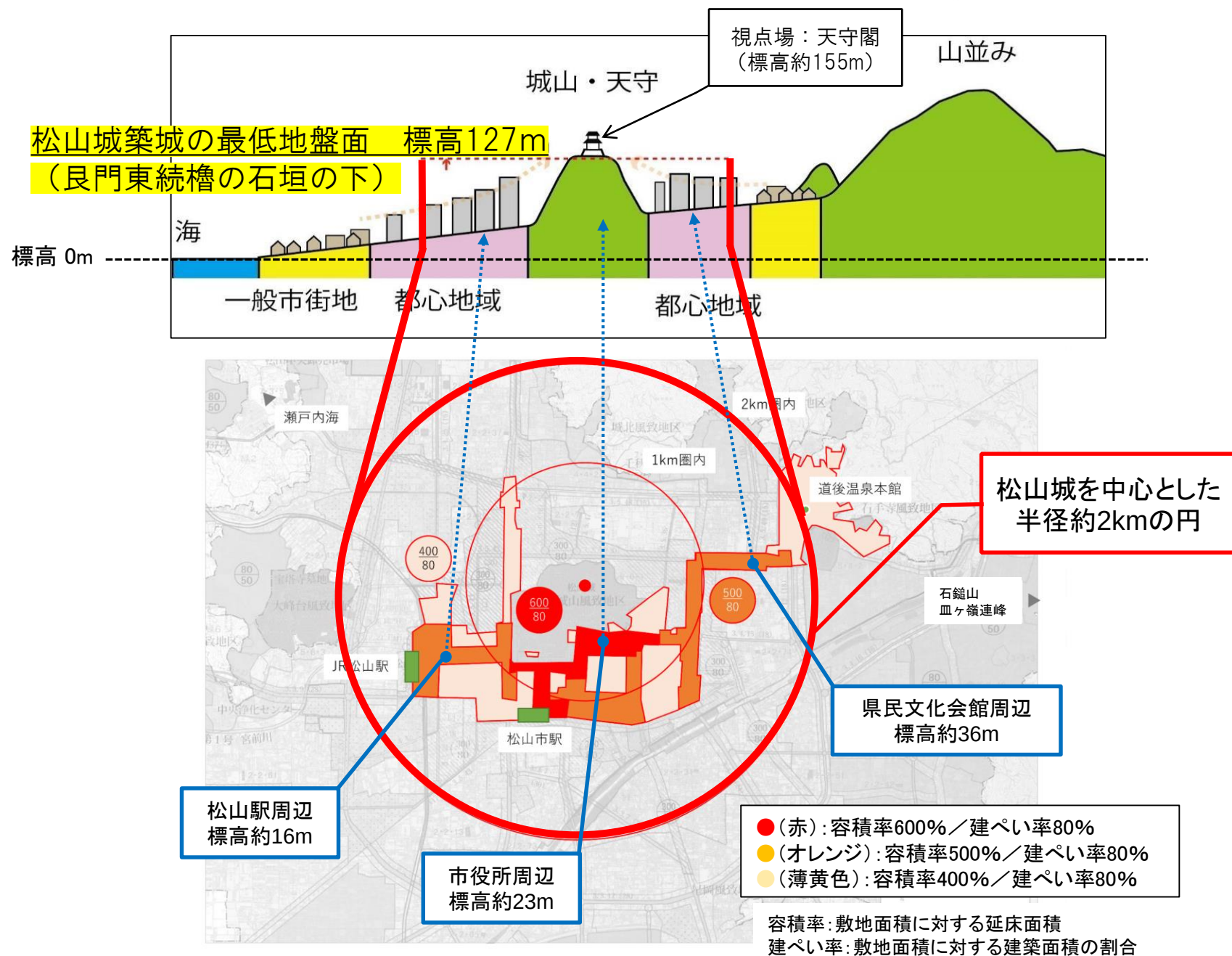


【北】



【南】

(松山城からの眺望景観の保全) 議論のたたき台となる考え方



(2)

今後の取組

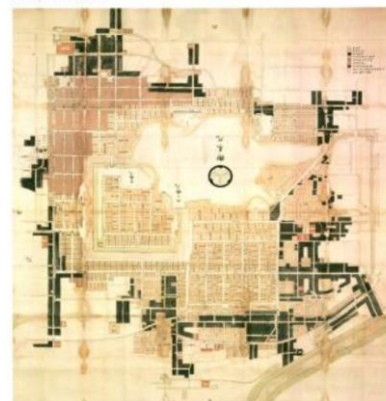
① 松山城からの眺望景観の保全（議論のスタート）

「情報発信ツールの作成について」

（１）松山城を中心とした街の成り立ち

- ・1602年に加藤嘉明公により松山城が築城、城下町の配置など、現在の松山市街の骨格が形成される。
- ・町人町が城山の西から南東へと広がったこととあわせ、商業地の重心が南東へと移動、南東部の外側（とがわ）の小唐人町（大街道）や永町（湊町・銀天街）を中心とした繁華街が幕末にかけて形成。
- ・明治に入り、明治21年の松山～三津間での伊予鉄道開通を契機に、松山市駅が交通結節点となり、外側地区に都市機能が集中。
- ・戦後の戦災復興土地区画整理事業で市街地の350haが整備。戦前の道路構成を基本とした道路拡幅を中心に整備され、碁盤の目状の城下町らしい町割りを残した市街地が形成。

松山城下町番付図



出典：松山の都市デザイン
（平成27年3月：松山市）

(2) 松山城周辺の状況

- ・都市計画では、「土地の有効利用や高度利用を図り、快適で利便性の高いコンパクトシティの実現」を目指している。
- ・景観計画では、「先導的役割が期待できる地域や松山城への眺望を守るべき地域を指定し、良好な景観の保全・形成」を目指している。
- ・市内中心部では60m規模の高層ビルの建設が増加している。
- ・松山城周辺の都市計画用途は、一定の高い建物を許容する商業地区として設定され、高層建築物等が建設される可能性が高い。
- ・松山市景観計画（松山城への眺望景観の保全を目的として設けられた区域）
【市役所前榎町通り景観形成重点地区】
高さへの配慮と建築物の壁面後退により、街路の広がりを維持し、松山城への美しい眺望景観を保全・形成します。
【眺望保全区域（視点場：永木橋）】
屋上広告物を含む建築物の高さ等の規制・誘導により、松山城への美しい眺望景観を保全・形成します。

(3) 市民アンケートやワークショップの結果等

■ 市民アンケートの結果

- ・松山城は95%以上の市民が訪れたことのある本市のシンボル・観光名所
- ・松山城からの風景はお城そのものに並ぶ魅力がある
- ・「天守」「本丸広場」から眺める「街並み」「瀬戸内海」が気に入られており、自然景観と市街地景観が見渡せることが大きな魅力

■ ワークショップで出された意見

- ・瀬戸内海や山並みなどの自然が見える眺望景観を守っていききたい
- ・山、海、街が一目で見えるのが良い(眺望景観のバランスの良さを評価)
- ・眺望スポットは「天守」「本丸広場」「隠門続櫓横」「筒井門前」など
- ・建物の高さや色彩など市街地景観のコントロールが必要
- ・ただ単に景観だけを考えるのではなくストーリー性のある仕立てが必要



（４）文学作品等に見る松山城

■俳句

（松山城への眺望を感じさせるもの）

門前や何万石の遠かすみ
松山や秋より高き天守閣
城山の浮み上るや青嵐
見上ぐれば城屹として秋の空
古城は北に聳えて天の川
三日月おちかかる城山の城

小林一茶
正岡子規
正岡子規
夏目漱石
内藤鳴雪
種田山頭火

（松山城からの眺望を感じさせるもの）

春や昔十五万石の城下哉
四方秋の山をめぐらす城下哉
秋高き城に登れば石鎚が
見下して木の間に涼し道後の灯

正岡子規
正岡子規
柳原極堂
村上霽月



JR松山駅に佇む子規の句碑

■短歌

秋晴れて伊予に雲無し鶴となり飛ぶこと勿れ松山の城 与謝野鉄幹
松山の城より秋の海見れば大地も持てりうつくしき蔓 与謝野晶子

■随筆

「養痾雜記」(正岡子規)より

世に故郷程こいしきはあらず。花にも月にも喜びにも悲しみにも先づ思ひ出でらるるは故郷なり。(略)故郷近くなれば城の天守閣こそ先づ目をよろこばす種なれ。(略)

「続三千里」(河東碧梧桐)より

明治四十三年八月十日晴(略)松山城程天守閣角櫓等の完全に保全されてをるのは全国に其の比を見ぬ。(略)この山、この建築、この森に加えて、山上四顧の眺望を以てす、日本一の公園とする必ずしも難しいことではないと思ふ。

「老い朽ち行く感」(高浜虚子)より

此処の城は市街の中央に聳えた山の上に在る。此城山は松山の誇りの一つで、城も旧態をとどめて見苦く無いだけに保存されている。(略)

② 松山城の眺望景観を尊重する意識醸成（取組を強化・推進）

「松山城眺望マップの更新について」

■ 松山城を含む都市景観等に関するアンケート調査（令和元年度実施）

問：あなたが“おすすめ”する松山城へのビューポイントがあれば3つまで教えてください。
（回答者数：1007人）

	ビューポイント	回答数	割合（％）
1	堀之内公園・城山公園（愛媛県立美術館等含む）	222	22.0
2	松山市駅（高島屋・くるりん等含む）	164	16.3
3	市役所周辺（榎町通り等含む）	157	15.6
4	松山総合公園	107	10.6
5	道後公園（湯築城跡含む）	32	3.2
6	永木橋	27	2.7
7	道後エリア（道後温泉本館・ホテル等含む）	20	2.0
7	二之丸史跡庭園	20	2.0
9	伊予銀行本店前	17	1.7
10	はなみずき通り	16	1.6
10	石手川緑地・土手	16	1.6

（その他） 瀬戸風峠、南堀端、JR松山駅、外環状線 など

■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

① ロシア人墓地（松山大学）



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

② 長建寺前（ロシア人墓地～長建寺付近）



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

③ 榎町通り【松山市景観計画（市役所前榎町通り景観形成重点地区）】



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

④ はなみずき通り



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

⑤ 永木橋【松山市景観計画（眺望保全区域）】



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

⑥ 松山神社



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

⑦ 宝厳寺



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

⑧ 伊佐爾波神社



■平成19年度作成「松山城眺望マップ」

⑨ 道後公園（展望台上）



■令和元年度「松山城を含む都市景観等に関するアンケート」

⑩ 堀之内公園・城山公園



■令和元年度「松山城を含む都市景観等に関するアンケート」

⑪ くるりん（最高点付近）



■令和元年度「松山城を含む都市景観等に関するアンケート」

⑫ 松山総合公園（展望台下）



■令和元年度「松山城を含む都市景観等に関するアンケート」

⑬ 石手川緑地・土手（湯渡橋付近）



●松山城からの眺望

⑭ 筒井門前（標高 約 1 2 3 m）



●松山城からの眺望

⑮ 隠門続櫓横（標高 約 1 2 7 m）



●松山城からの眺望

①⑥ 本丸広場（標高 約 1 3 2 m）

